

小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計案(令和7年8月時点)

1 施設概要

- (1) 建築面積 約 4,000 m²
- (2) 延べ床面積 約 10,000 m²
 - ①小平第十一小学校 約 9,000 m²
 - ②(仮称)地区交流センター 約 600 m²
 - ③十一小学童クラブ 400 m²
- (3) 階数 3階建て
- (4) 校庭面積 約 7,400 m²
- (5) 計画学級数 24学級(最大28学級)

2 配置計画

資料No.6 1ページ参照

3 平面計画

資料No.6 2ページ～8ページ参照

4 今後の予定

- 令和7年8月 ワークショップ(平面計画①:諸室の配置、動線等について)
- 令和7年9月 ワークショップ(平面計画②:内装、什器、地域交流等について)
- 令和8年2月 基本設計案完了
- 令和8年2月 市民説明会(基本設計案について)
- 令和8年3月 基本設計完了、実施設計着手
- 令和9年3月 実施設計完了
- 令和9年12月頃 工事契約、工事着手
- 令和11年4月以降 再整備を進めている東部公園プールの利用開始
- 令和12年4月以降 供用開始
- 令和15年3月 工事完了

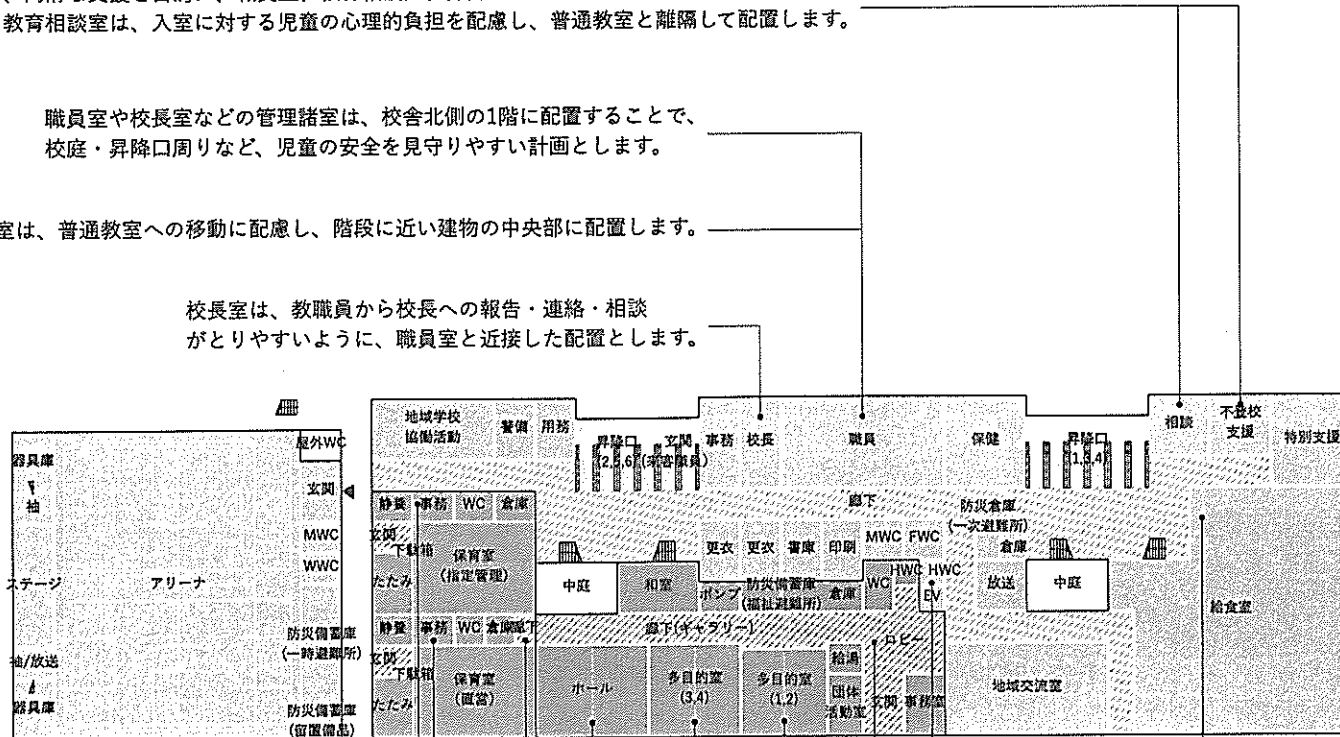
□ 1階平面図

不登校支援室は、円滑な支援を目的に、職員室、教育相談室、昇降口等に近接した配置とします。
 不登校支援室と教育相談室は、入室に対する児童の心理的負担を配慮し、普通教室と隔離して配置します。

職員室や校長室などの管理諸室は、校舎北側の1階に配置することで、
 校庭・昇降口周りなど、児童の安全を見守りやすい計画とします。

職員室は、普通教室への移動に配慮し、階段に近い建物の中央部に配置します。

校長室は、教職員から校長への報告・連絡・相談
 がとりやすいように、職員室と近接した配置とします。



事務室は、保育室が見えるように配置します。

保育室(直営)の地域開放がしやすいように、(仮称)地区交流センターとの間に
 廊下と扉を整備し、施錠管理により行き来ができるようにします。

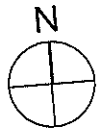
給食室は、児童が調理の様子を
 見られるよう、窓などを設置します。

障がいのある児童や多様な方の利用に配慮し、
 各階に多機能トイレを設置します。

ロビーは滞在できるような場所とします。

多目的室の一部について調理室を兼ねることができるつくりとします。

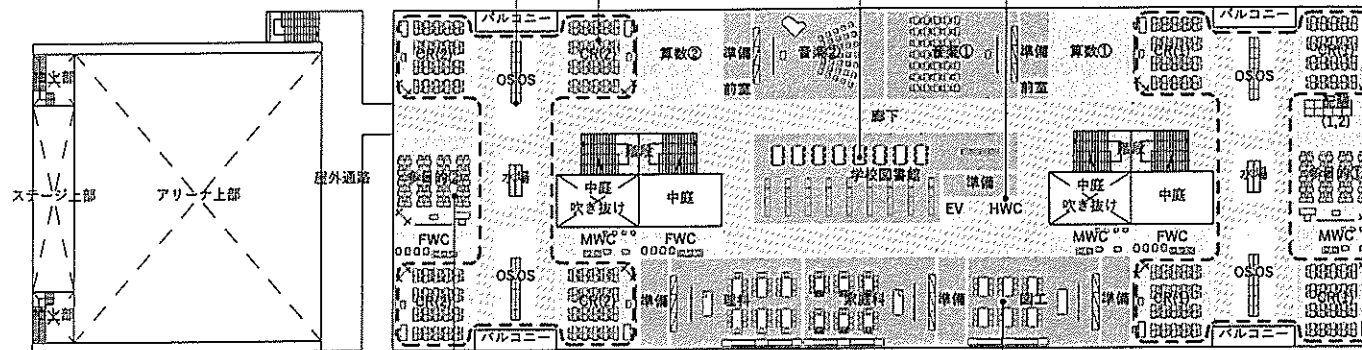
ホールや多目的室は可動式間仕切りを設置し
 最大2室の利用が可能につくりとします。



□ 2階平面図

各学級は、同一学年又は低・中・高学年でのまとまりを形成します。

各学年に、通過動線が少なく専有性の高い
南北方向に連続したオープンスペースを配置します。



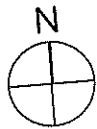
多目的教室は、児童数が増加して普通教室に転用した場合にも
学年のまとまりを維持できるよう、普通教室に近接した配置とします。

学校図書館や特別教室は各階からアクセスしやすい2階の中央部に配置します。

学校図書館は、特別教室と近接して配置し、
ICT環境の整備と合わせて、対話や発表をしながら各教科と連携して
学習を進めるためのラーニング・commonsとしての空間を備えます。

障がいのある児童や多様な方の利用に配慮し、
各階に多機能トイレを設置します。

特別教室は、学校図書館にアクセスしやすい配置とします。



□ 3階平面図 (南北クラスター案)

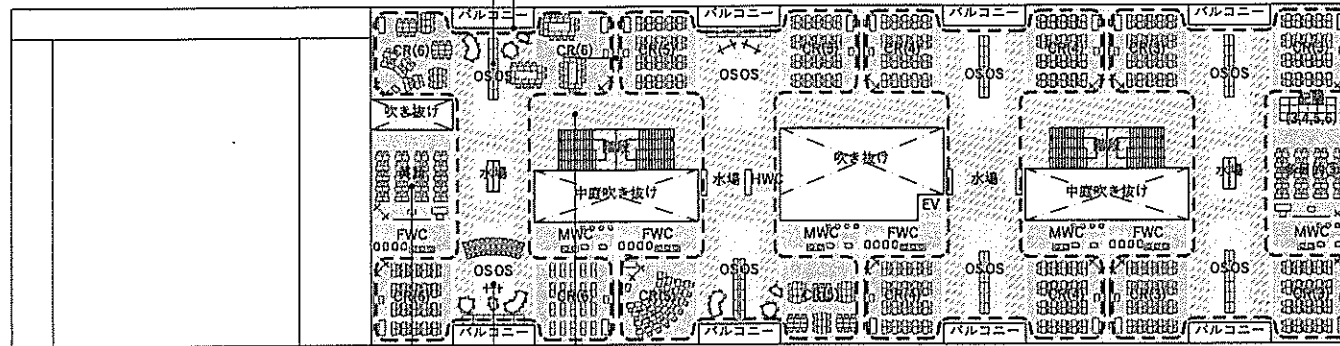
【メリット】

他クラスの通過動線がないポケット状のオープンスペースのため、
床を利用した学習の展開や家具をオープンスペースに配置する使いなどがしやすい。

対面する2教室のオープンスペースを合わせることで
利用しやすい空間を確保することができる。

教室が対面配置のため、教員同士が日常的に連携・協力関係を形成しやすく、
授業やオープンスペースの使い方など、相互に学び合える関係を築きやすい。

オープンスペースが南北面外周部に面しているため常に採光通風を確保することができる。



【デメリット】

廊下が東西方向に1本のため回遊性が低い。

教室が対面配置のため音への配慮が必要。

他学年の活動が見えづらいため、交流には工夫が必要。

学級数の変動に対しては、工夫が必要。

□ 3階平面図 (東西クラスター案)

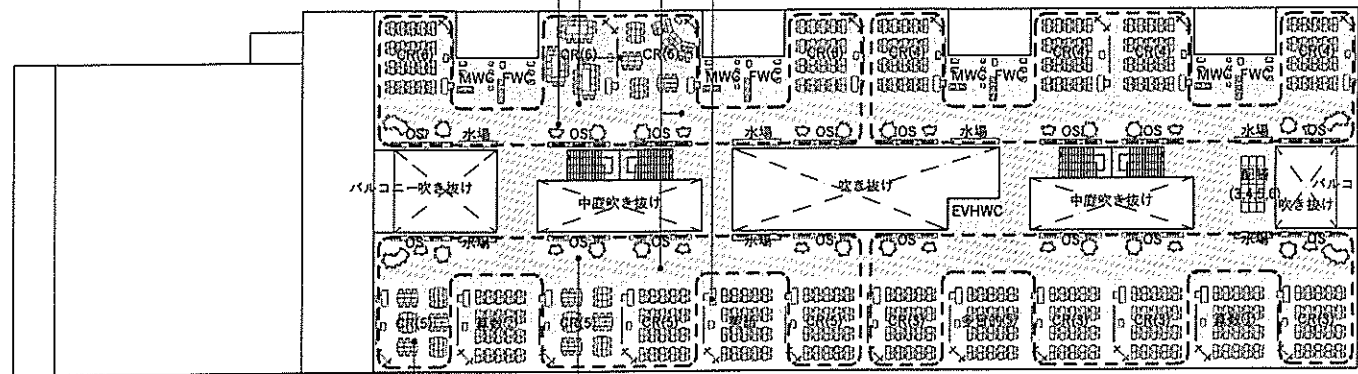
【メリット】

他学年のオープンスペースと隣接しているため、他学年の活動が見えやすい。

教室が対面していないため、教室内に静かな環境をつくりやすい。

廊下が東西方向に2本通っているため、回遊性がある。

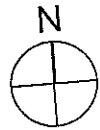
学級数の変動に対しては、柔軟に対応することが可能である。



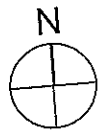
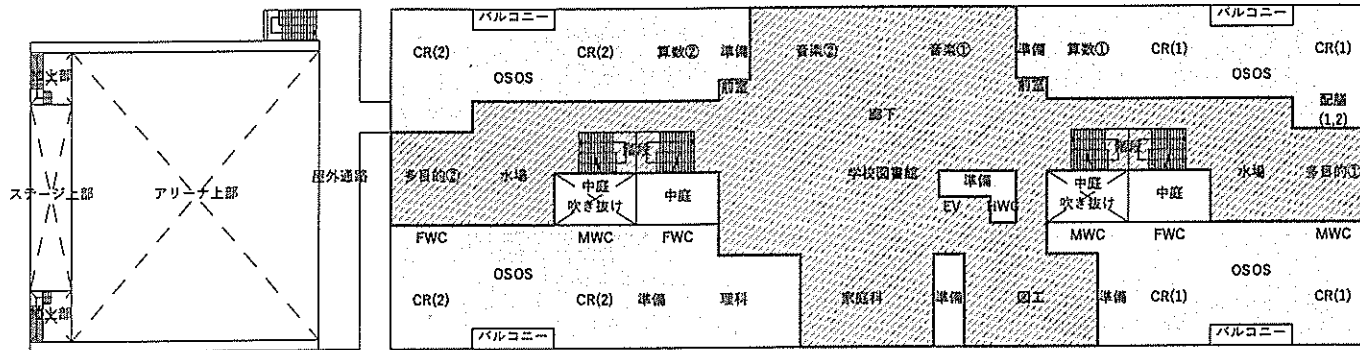
【デメリット】

オープンスペースの利用に対して、他クラスの通過動線が生じる。

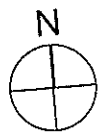
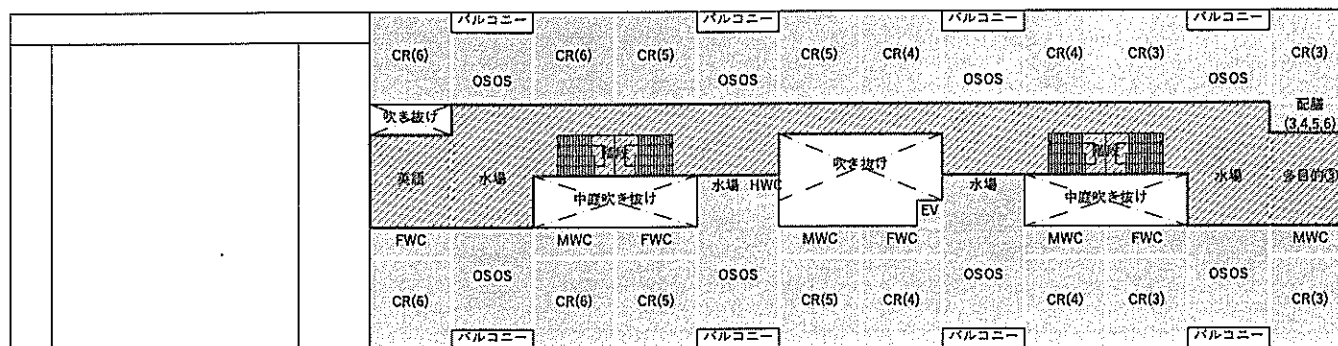
教室が並列配置であり、教室内から隣の教室の様子が見えづらいため、教員同士の連携に工夫が必要。



□ 2階ゾーニング図 (地域開放時)



□ 3階ゾーニング図 (地域開放時)



小平第十三小学校等複合施設の整備に関する配置計画案

1 小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画(令和6年3月)抜粋

(1) 配置計画の選定

配置計画、平面計画のそれぞれについて、安全性、快適性、学習環境への適応性、地区交流活動への適応性、周辺環境への適応性、自然環境への適応性、経済性、可変性の8分野を評価軸として評価した結果及び校舎の整備の判断結果から、北側校舎案と東側校舎案の2案を選定します。

なお、東側校舎案については、今後の基本設計の中で、仮設校舎整備の必要性について再評価を行い、仮設校舎が不要との結果に至った場合には、東側校舎案を選定します。

(2) 仮設校舎整備の判断

学校更新時の校舎の配置を検討する際には、動線分離などの安全性に加え、次のア、イ及びウについて検討し、教育活動に必要な機能や環境が確保でき、近隣などの敷地周辺への影響が許容できるものとなり、将来の学校更新の継続性が保てる場合には、仮設校舎は整備せずコスト縮減を図るものとします。

ア 教育活動に必要な機能や環境

(ア) 教室内等の環境

(イ) 職員室の配置

(ウ) 校庭の活用

イ 近隣への影響

(ア) 日影、騒音、埃の影響

(イ) 圧迫感

(ウ) プライバシー

ウ 将来の学校更新の継続性

2 配置計画・平面計画

(1) 北側校舎案 資料No.7 1～4ページ参照

(2) 東側校舎案 資料No.7 5～8ページ参照

3 今後の予定

令和7年8月 ワークショップ(建物配置について)

令和7年9月 ワークショップ(地域交流について)

令和7年10月 建物配置の決定(北案又は東案)

令和7年12月 平面計画等中間報告

令和8年1月 ワークショップ(平面計画①:諸室の配置、動線等について)

令和8年2月 ワークショップ（平面計画②：内装、什器、地域交流等について）

令和8年10月 基本設計案完了

令和8年10月 市民説明会（基本設計案について）

令和8年11月 基本設計完了、実施設計着手

令和10年3月 実施設計完了

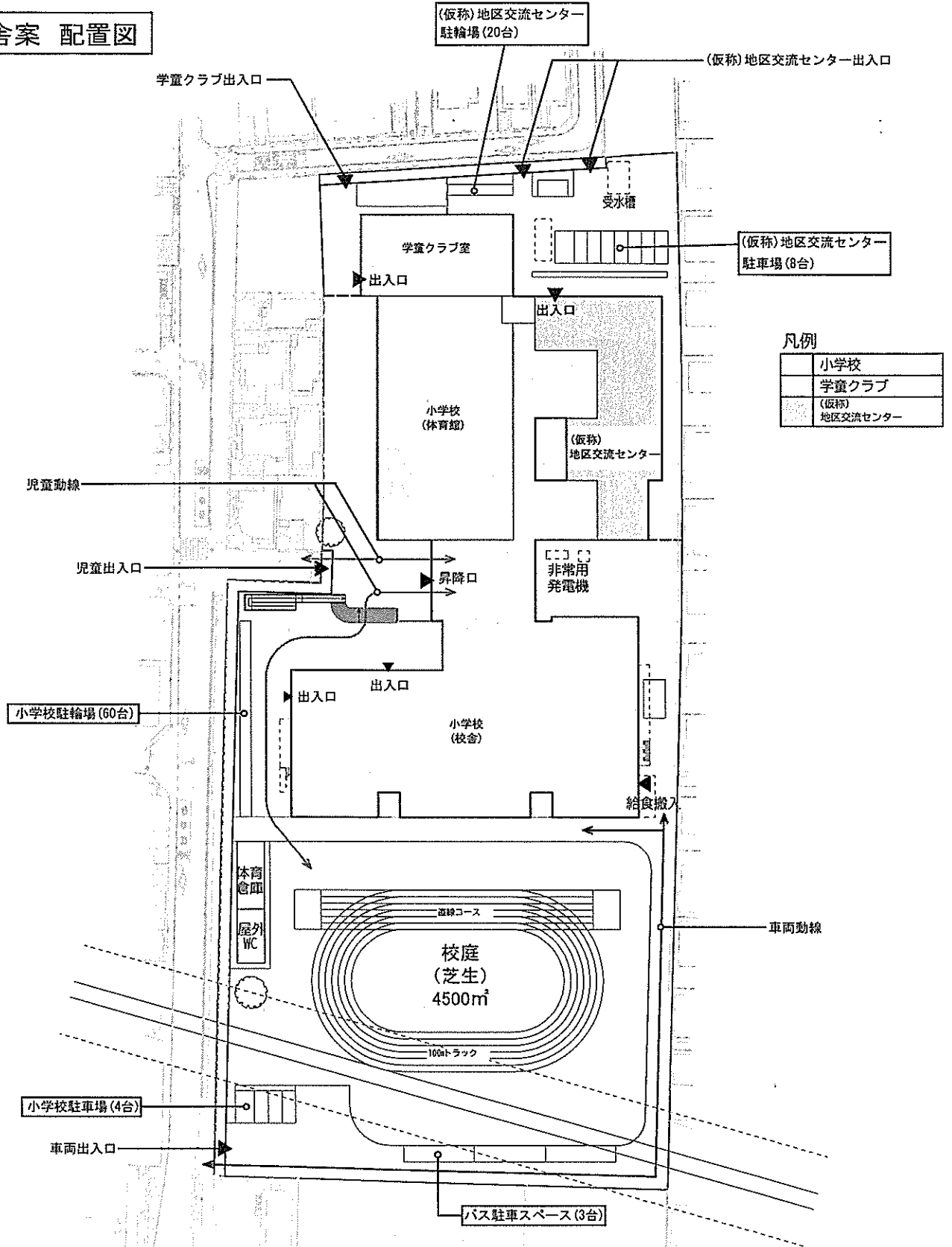
令和10年12月頃 工事契約、工事着手

※仮設校舎が必要な場合は、令和8年度から仮設校舎の整備等を行う。

令和13年4月以降 供用開始

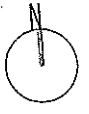
令和16年3月 工事完了

北側校舎案 配置図



凡例

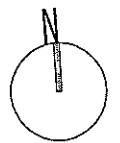
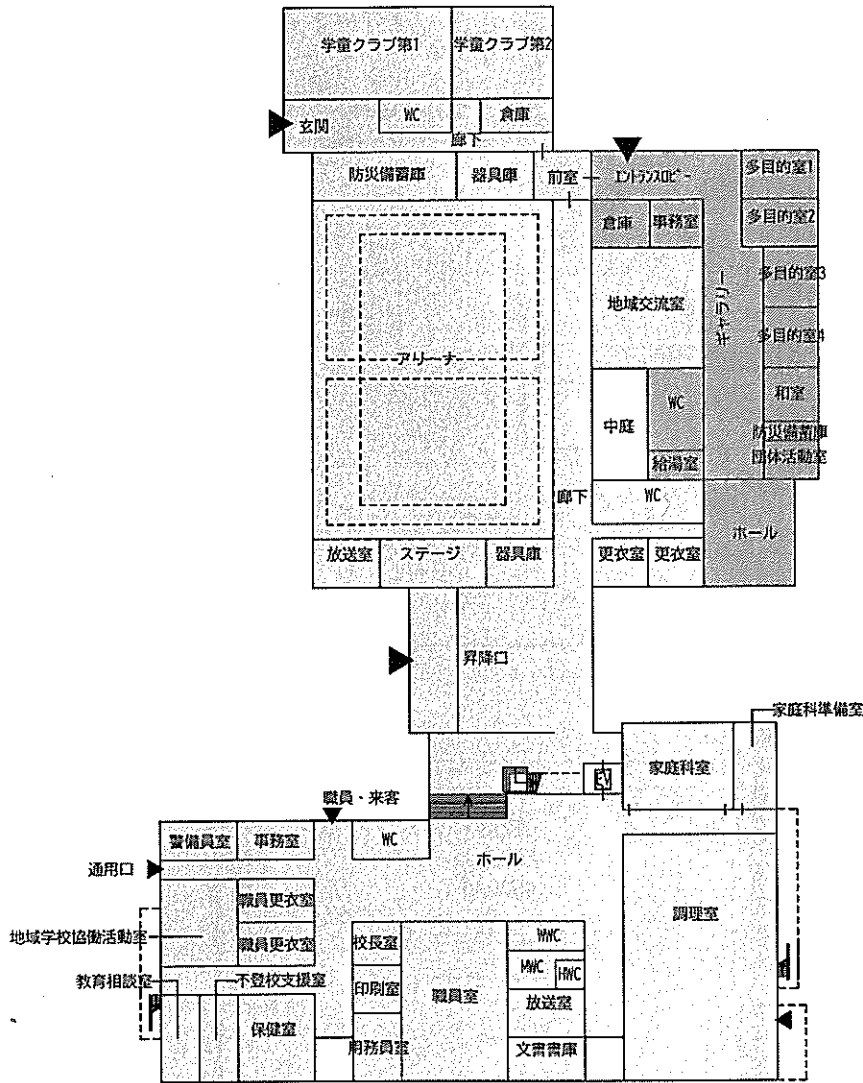
[Pattern]	小学校
[Pattern]	学童クラブ
[Pattern]	(仮称) 地区交流センター



北側校舎案 1階平面図

凡例

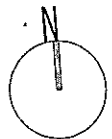
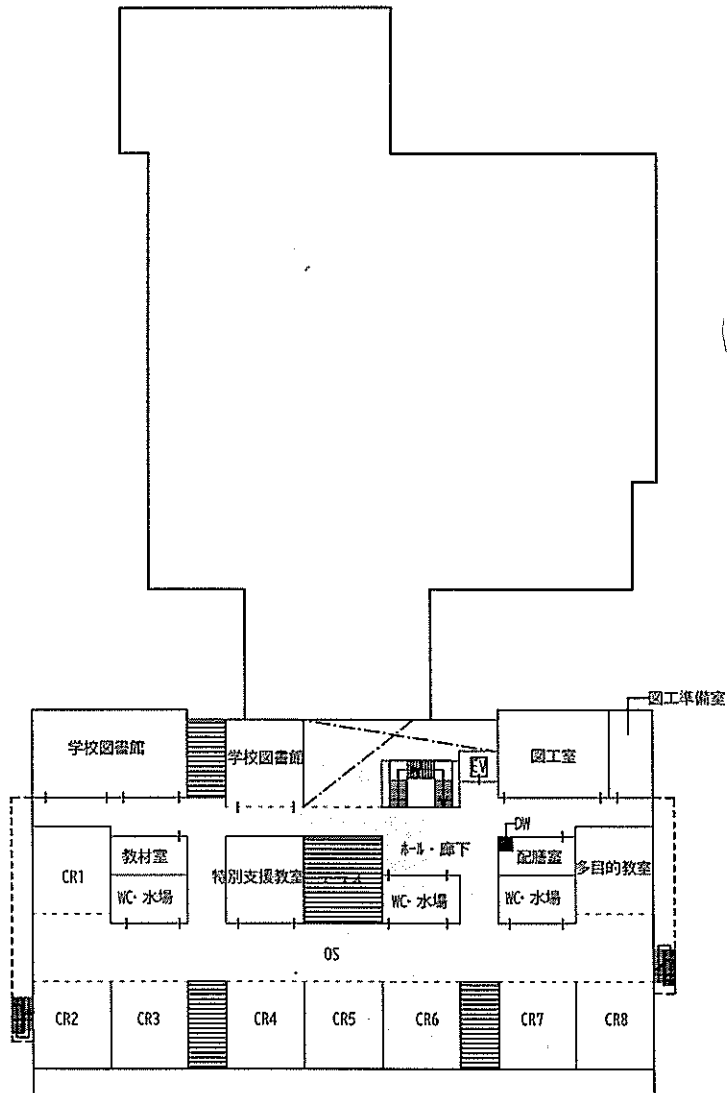
	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



北側校舎案 2階平面図

凡例

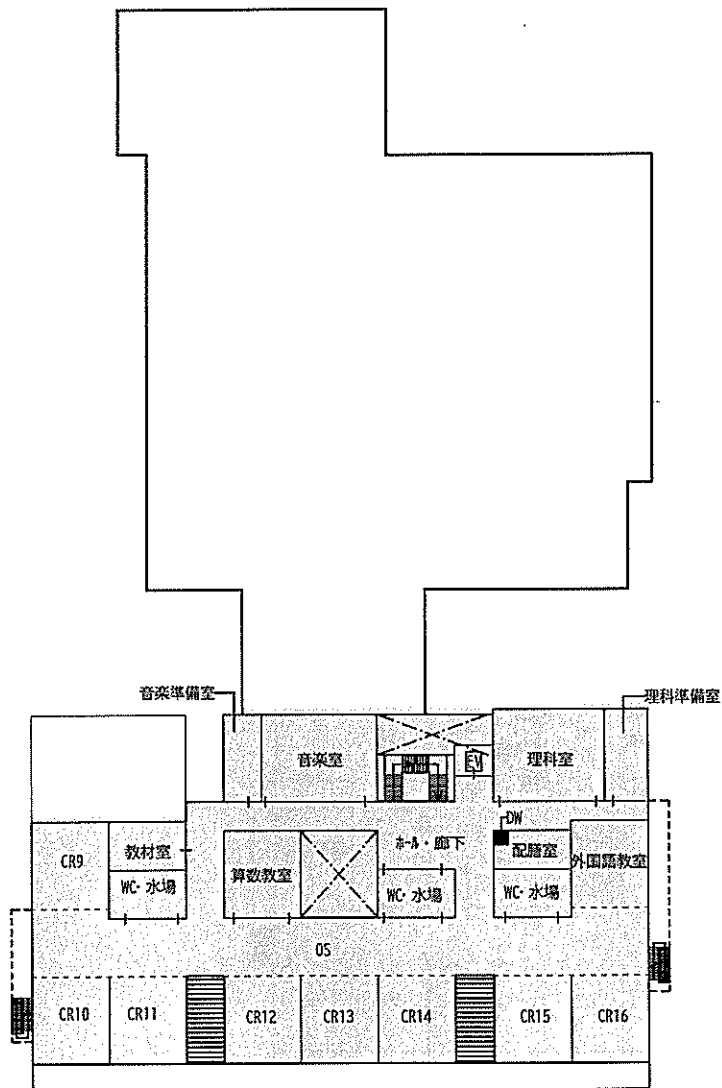
	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



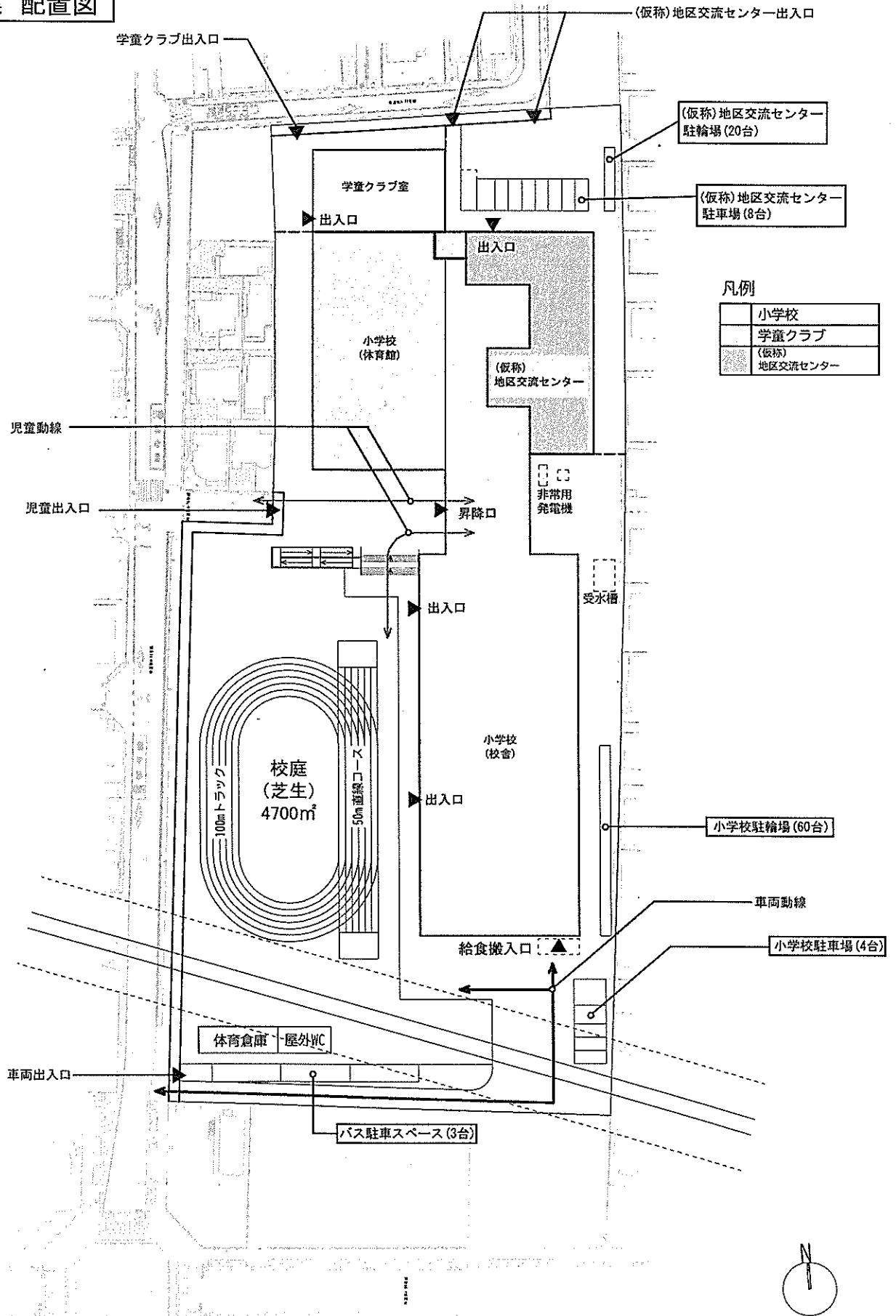
北側校舎案 3階平面図

凡例

	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



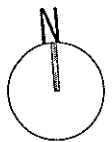
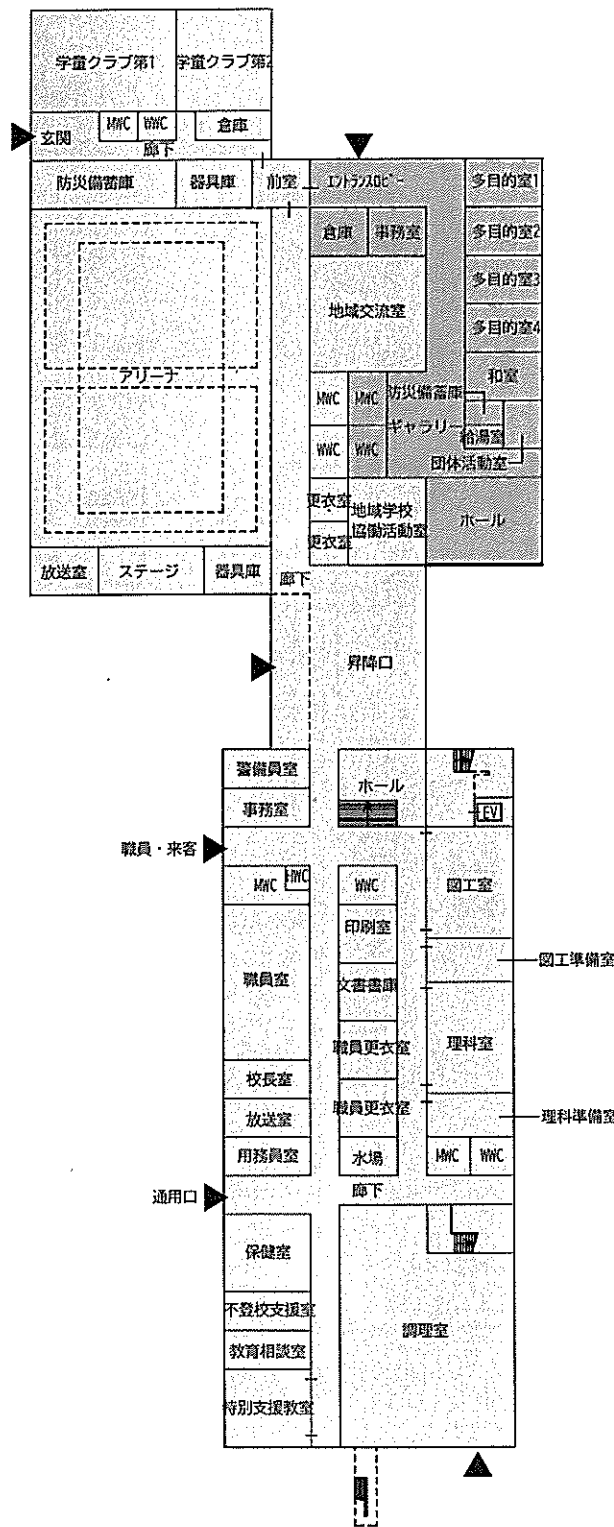
東側校舎案 配置図



東側校舎案 1階平面図

凡例

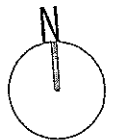
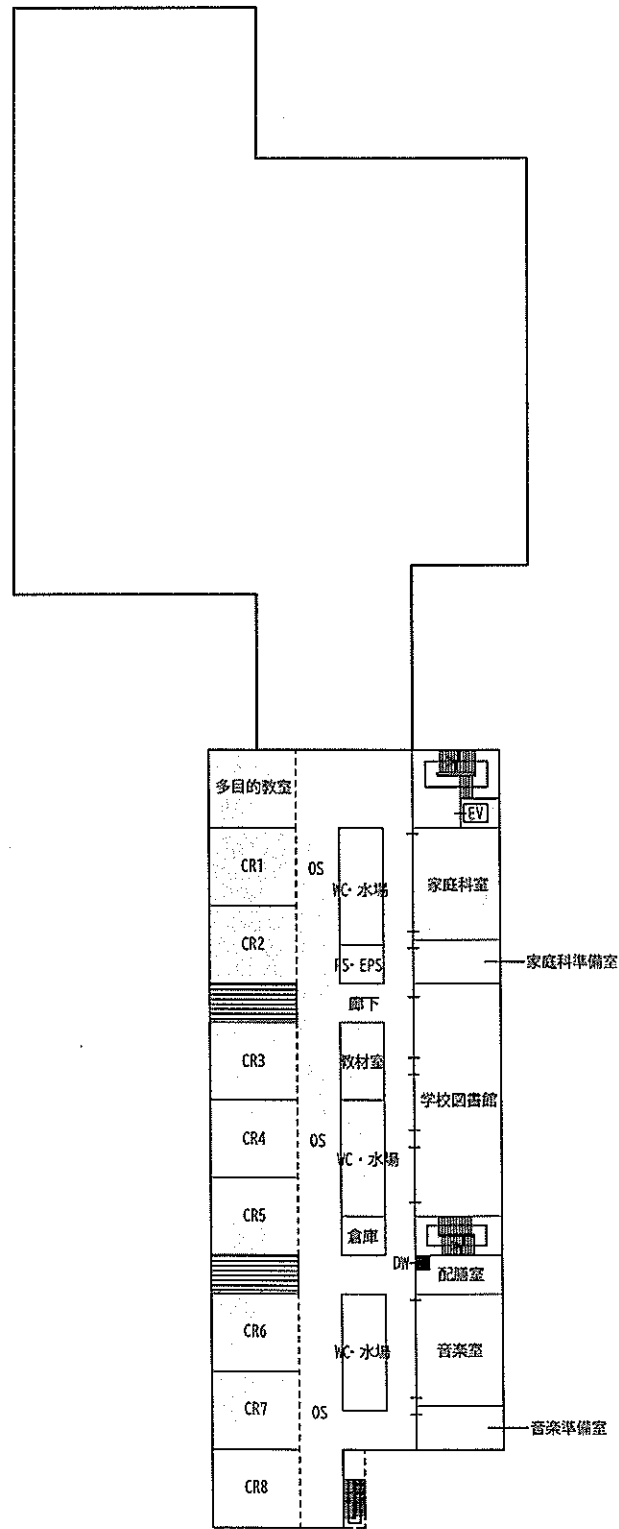
	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



東側校舎案 2階平面図

凡例

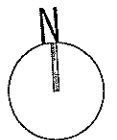
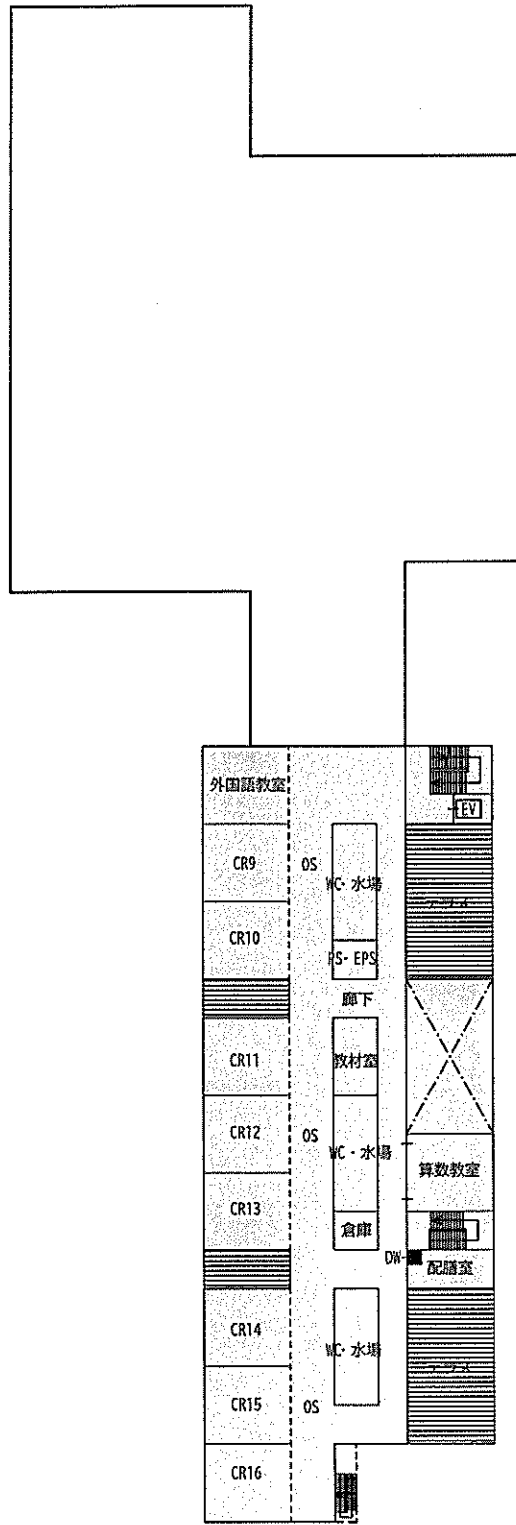
	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



東側校舎案 3階平面図

凡例

	小学校
	学童クラブ (仮称)
	地区交流センター



(仮称) 地区交流センターについて

小平市では、「つながり、共に創るまち こだいら」という将来像の実現に向けて、今後、新たな地域コミュニティの拠点として「(仮称) 地区交流センター」(以下、「地区交流センター」という。)の設置を進めていく予定です。

1 地区交流センターとは

■小学校に「地区交流センター」を複合化

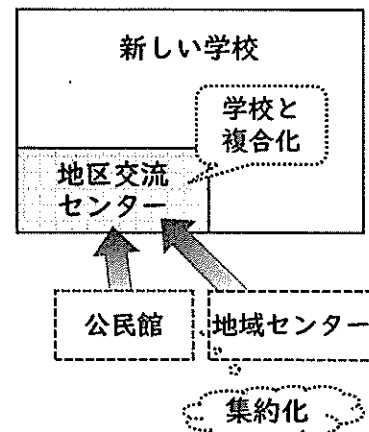
- ・小学校の更新(建替え)時期を捉え、地区交流センターを複合化(併設)します
- ・現在設計中の小平第十一小学校と小平第十三小学校が、市内で最初の事例となります(十一小は令和12年度以降、十三小は令和13年度以降に供用開始予定)

■地区交流センターの役割

- ・地区交流センターは、従来の公民館機能、地域センター機能を複合化した施設です
- ・地区交流センターの設置を契機として、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ります

■公共施設マネジメント(公共施設の総量を適正化)

- ・地区交流センターの開設に合わせ、当該地域の地域センターと公民館は機能を地区交流センターに移転するため、跡地・跡施設については、売却も含め有効活用を図ります



2 地区交流センターの機能(案)

■公民館機能

- ・従来の公民館が有していた、社会教育施設としての地域学習機能
- ・具体的には、講座の実施やサークル運営の支援等

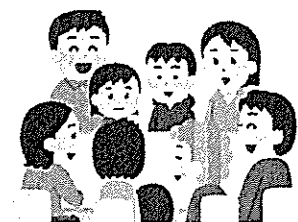
■地域センター機能

- ・従来の地域センターが有していた、地域における場の提供機能等(部屋の貸出し等)

■地域コミュニティの醸成機能(小学校を地域の核とした地域コミュニティを醸成)

- ・職員が、地域のコーディネーターとしての役割を担います
 - 地域で活動している団体等の顔の見える関係構築を促進し、活動の裾野が広がり、団体間の連携が広がるよう、働きかけ、つなげていく役割
 - 地域の事業者等(お店、企業等)も地域と連携していける環境づくり

※上記のほか、学校との緊密な連携体制も検討していきます
→複合化により、職員が担い得る役割等も検討



3 地区交流センターで実現する未来

■地域で実現したい未来

(以下は例示)

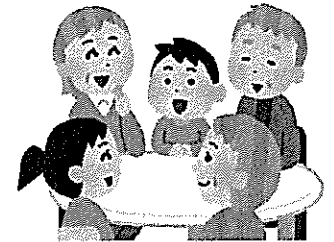
- ・顔の見える関係が構築される
- ・地域で活動している様々な団体同士が出会い、連携できる
- ・世代を超えた交流が促進される
- ・防災、子育て、福祉など共通の目標に向けて協力
- ・地域全体で子どもを育てる環境づくり



■学校で実現したい未来

(以下は例示)

- ・教育活動の充実（地域の方々との交流等）
→地域の人が学校をサポートするきっかけの拡大
- ・地域との共用による施設活用の最大化
- ・地域連携業務を地区交流センター職員がサポート

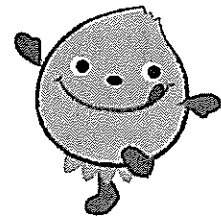


4 未来を実現するために（運営方法、実施事項等）

- ・市職員を配置
- ・公民館（分館）の位置づけを承継
- ・学校と地区交流センターは、セキュリティを考慮してエリア分けしつつ、共通使用できる部屋（地域交流室）を介して行き来可能とする（両エリアから施錠可）

(以下は、例示)

- ・地域コミュニティの醸成推進を継続的に検討する会議体を設置
→学校、地域（市民、事業者等）、行政（市の各関係課等）など
- ・地域の公共的な団体を広く紹介
→団体間交流のできる機会をつくる
- ・学校と地域の合同行事を企画・実施
- ・DXの観点から、利便性の向上を目指す



(仮称) 地区交流センターに係る今後のスケジュール (予定)

(仮称) 地区交流センターについて、今後、概ね以下のスケジュールで検討を進めていく予定です。

時期	内容
令和7年度 8月	■ <u>十一小、十三小 ワークショップ</u> ・主に、設計に係るご意見をいただく。 →十一小は、施設内部の諸室の配置についてご意見をいただく →十三小は、敷地内の施設の配置についてご意見をいただく
9月	■ <u>十一小、十三小 ワークショップ</u> ・(仮称) 地区交流センターについて資料を提示し、ご意見をいただく。 →事業等、ソフトについての話が中心となる想定 →「地区交流センターで実現したい未来」等をテーマに意見交換予定
12月頃	■ 「(仮称) 地区交流センター」の概略を整理した資料(案)を提示 ・9月の資料に肉付けした資料を提示し、ご意見をいただく。 →WEBによる意見募集等も検討
3月頃	■ 「(仮称) 地区交流センター」の概略を整理した資料を公表 ・(仮称) 地区交流センターの運営や実施事業等に係る概略について、市として一定の整理をした資料を公表する。
令和8年度 以降	■ <u>より具体的な、運用上のルールや事業等についての検討</u> ・令和7年度の公表資料を踏まえ、より具体的な事項の検討を進める。 ・部屋の貸出しに係る運用ルールなどについても、検討を進める。 ・地域で公共的な活動を行っている団体等と、継続的に意見交換等を行っていき仕組みについて、検討・試行を進める。 ※施設の設置条例については、施設開設の前年度を目途に制定するスケジュール感で、検討を進める。

※上記はあくまで予定であり、今後変更となる場合があります。

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年8月21日
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（8月）
2 開催年月日等	土曜こども広場 友・遊こどもまつり 令和7年8月30日（土）午前10時～午後3時
3 会 場	中央公民館
4 内 容	<p>地域における多様な主体と連携し、公民館への新規来館のきっかけづくりとなるよう、主に小学生を対象として次の体験プログラムなどを提供する。</p> <p><体験プログラム> 「バルーンアートたいけん会」「ガンブラアカデミア」「白梅縁日」「ビーズでプレスレットをつくろう」「小平めぐり人生ゲーム」「Nゲージを走らせよう」「プラレールを走らせよう」「毛糸と小枝を使ったクラフト」「ボッチャをやってみよう」「むかし遊びを体験しよう！」「絵手紙をつくろう！」「シークレットブック」「メダカそうだんかい」「白バイとぱちり」「名前をきれいな字で書いてみよう」「ゆかたを着てみよう」「夏にぴったり！親子でひんやりゼリーづくり」「三味線をさわってみよう」「ドイツゲームで遊ぼう！」</p> <p><音楽演奏など> 「夏の音楽会♪響け！平和への歌声」「みんな大好き！コダレンジャーショー」</p> <p><その他> 小平第十五小学校連携「1日館長イベント」「十五小作品展示コーナー」 「まつりお弁当やさん」</p>
5 主 催	中央公民館
6 特 記 事 項	<p>令和4年度 ZOOM配信による体験メニュー参加者数 28人(大人を含む)</p> <p>令和5年度 参加者数 654人(大人を含む。講師・ボランティアを除く。)</p> <p>令和6年度 参加者数 1,105人(大人を含む。講師・ボランティアを除く。)</p>
備考：	

行事等結果報告

社会教育委員の会議
令和7年8月21日
中央図書館

1 行 事 名	<ul style="list-style-type: none"> ① 小平市立図書館開館50周年記念イベント「思い出の本やエピソードをカードに書こう」 ② 消しゴムはんこを彫って「オリジナルしおり」を作ろう！ ③ なつやすみシールラリー ④ 「14匹のねずみ」シリーズ複製画展示 ⑤ 夏休み！家族一日図書館員 ⑥ よるのおはなし会 ⑦ 平和を祈ろう～折り鶴の少女を知っていますか～ ⑧ 「ナイトライブラリーコンサート」 ⑨ 中・高校生「図書館ボランティア体験」
2 開催年月日等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年5月18日（日）～7月16日（水）【中央図書館】 ② 令和7年8月3日（日）午前・午後 全2回【大沼図書館】 ③ 令和7年7月14日（月）～9月17日（水）【中央図書館】 ④ 令和7年7月19日（土）～10月13日（月・祝）【中央図書館】 ⑤ 令和7年7月27日（日）～8月11日（月・祝）【全館（分室除く）】 ⑥ 令和7年7月23日（水）～8月20日（水）【全館（分室除く）】 ⑦ 令和7年8月6日（水）【喜平図書館】 ⑧ 令和7年8月10日（日）【仲町図書館】 ⑨ 令和7年8月13日（水）【中央図書館】
3 会 場	中央図書館及び地区図書館
4 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者に思い出の本やエピソードをカードに記載してもらい掲示した。掲示：59枚 ② 消しゴムを彫ってはんこを作成し、はんこでしおりを制作した。参加：①こども6名（保護者2名）、②大人：6名 ③ 自分の利用カードを作る、本を借りるなどでシールを3枚集めると手作りのプレゼントがもらえる夏休みの企画。台紙発行数：650枚以上（7月31日現在） ④ いわむらかずお氏による「14匹のねずみ」シリーズの複製画を2階ギャラリーで展示。入口には絵本の1場面をタペストリーにしたものを掲げ、フォトスポットを用意。 ⑤ 家族で図書館の仕事を体験し、図書館の仕組みや役割、利用方法をより理解していただいた。参加：各館1家族（中央図書館2家族）

	<p>⑥ 普段より少し怖いおはなしや大型絵本などを楽しむ、おはなし会のスペシャル版として実施した。対象：4歳～小学生と保護者、参加：各館25人～50人程度（会場による）</p> <p>⑦ 広島市の平和記念公園に捧げられた折り鶴の再生紙で折ったお花の折り紙を館内で配布した。対象：中学生以下、先着30名</p> <p>⑧ 国立音楽大学のサークルとの共同企画としては、初めて図書館閉館後に行う、歌と演奏によるコンサート。事前申込不要、対象：中学生以上（中学生は保護者同伴）20名</p> <p>⑨ 図書館員の仕事体験や、図書館員を目指す方に役立つ情報をお伝えし、バックヤードも紹介した。参加：中・高校生8名</p>
5 主 催	小平市教育委員会
6 特 記 事 項	
備 考	

行事等開催予定

社会教育委員の会議
令和7年8月21日
中央図書館

1 行事名	<ul style="list-style-type: none"> ① 大人のためのおはなし会 ② こどものためのライブラリーコンサート3 ③ 親子で楽しむおえかきワークショップ
2 開催年月日等	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年9月13日(土)【中央図書館】 ② 令和7年9月23日(火・祝)【仲町図書館】 ③ 令和7年10月4日(土)【喜平図書館】
3 会場	中央図書館及び地区図書館
4 内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 普段子どもたちが聞いているおはなし会を、大人の方々のために実施。対象：中学生以上、定員：12名、保育あり ② 国立音楽大学のサークルの方を迎え、演奏や一緒に歌を歌うなどの参加型コンサートの4回目。事前申込不要、午前・午後の2回実施。対象：①0～3歳、②4歳～小学生各回20名程度(その他立見あり) ③ 喜平図書館・津田図書館共催事業。小平市在住の絵本作家・かじりみなこ氏を講師に迎え、著作絵本の世界観に触れながらワークショップを実施。講師によるおえかき実演等も予定。定員：親子12組(1組3人以内)、事前予約制、先着順
5 主催	小平市教育委員会
6 特記事項	① は、小平市子ども文庫連絡協議会との共催
備考	

休館のお知らせ

下記の期間、図書館システム更新のため

全館休館いたします。

2025年10月14日(火)

～
10月31日(金)

■返却はブックポストをご利用ください。

※CD、カセットテープ、他の公立図書館から取り寄せた資料はブックポストへ返却せず、開館後に直接カウンターへ返却していただきますようお願いいたします。

■図書館ホームページ及び利用者ポータルは10月13日(月・祝)

17時から11月1日(土)10時まで利用できなくなります。

※上記期間中は資料の予約等できなくなります。

■喜平図書館と上宿図書館の集会室は、休館中もご利用いただけますが、事前に受付

窓口または公共施設予約システムでの予約が必要です。なお、休館中は受付窓口での予約はできません。

■仲町図書館は11月1日(土)のみ10時に開館します。